

資料（調査票）

渋川市 男女共同参画に関する市民意識調査

〈調査の趣旨とご協力のお願い〉

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

渋川市では、すべての市民が、互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」を実現するため、地域や職場等の組織の意思決定過程において女性の参画が少ない状況の打破、性の多様性の無知及び無理解による偏見や性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消など、様々な取組を進めています。

この調査は、これらの施策の推進や、取組の基本となる「男女共同参画計画の策定」の基礎資料として、市民の皆さまの考えをお聞きするため、市内に在住する18歳以上の市民の方々から、性別や年齢に配慮したうえで2,000人を選ばせていただき、送付しています。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、是非調査へご協力いただきますようお願いいたします。

令和6年12月 渋川市長

調査票記入にあたってのお願い

- 記入にあたっては、原則として宛名のご本人がお答えください。
ご本人による記入・入力が難しい場合は、ご家族等の補助をお願いいたします。
- このアンケート調査は無記名式ですので、名前を記入する必要はありません。
また、結果は統計的に処理し、個人が特定されることはありません。
- 「その他」に当てはまる場合は、（ ）内に具体的にご記入ください。
- ご回答は「郵送」または「インターネット」のどちらか一方でお願いします。

【郵送の場合】

- ・ボールペンや鉛筆などで、はっきりと記入してください。
- ・記入していただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、令和7年1月24日（金）までにポストに投函してください。その際、切手を貼る必要はありません。

【インターネットの場合】

- ・次の二次元コードまたはURLから回答ページにアクセスの上、令和7年1月24日（金）までに回答してください。

URL <https://logoform.jp/f/4D5HI>

- ・インターネットから回答する場合は、調査票の郵送は不要です。
- ・回答の際、右下に表示の【 】内の4桁の数字を入力してください。
（数字は郵送との重複を防ぐためのものです。個人が特定されることは一切ありません。）



記入にあたっての不明な点や調査についてのお問い合わせはこちらまでお願いします。

渋川市 総合戦略部 政策戦略課

TEL：0279-25-8419 メールアドレス：mirai@city.shibukawa.gunma.jp

▶ インターネットから回答する場合、右の【 】内の4桁の数字を入力してください【 】

■ 回答を統計的に分析するために、あなたご自身とご家族についてお聞きします。
該当する番号に○をつけてください。

F 1 あなたの性別はどれですか。

戸籍上の区分とは別にご自身の主観によりご回答ください。(1つに○)

※性別を答えたくない、分からない方などは、③に○をつけてください。

- ① 女性 ② 男性 ③ その他

F 2 あなたの年齢はいくつですか。(1つに○)

- ① 10歳代 ② 20歳代 ③ 30歳代 ④ 40歳代
⑤ 50歳代 ⑥ 60歳代 ⑦ 70歳以上

F 3 あなたのお住まいはどこですか。(1つに○)

- ① 渋川地区 ② 伊香保地区 ③ 小野上地区
④ 子持地区 ⑤ 赤城地区 ⑥ 北橘地区

F 4 あなたの世帯構成はどれですか。(1つに○)

- ① 一人暮らし ② 夫婦のみ（事実婚を含む）
③ 親と未婚の子が同居（2世代） ④ 親と子ども夫婦が同居（2世代）
⑤ 親と子と孫が同居（3世代） ⑥ その他（ ）

F 5 あなたの職業はどれですか。(1つに○)

- ① 正社員・正職員
② パート・アルバイト・派遣・契約社員等の非正規雇用者
③ 自営業（商工業、農林水産業、サービス業等）
④ 専業主婦・主夫
⑤ 学生
⑥ 無職
⑦ その他（ ）

F 6 あなたは現在結婚（事実婚を含む）をしていますか。(1つに○)

- ① 結婚している（事実婚を含む）
② 以前は結婚していたが、現在はしていない（離別・死別）
③ 結婚していない

F 7 F 6で「① 結婚している（事実婚を含む）」と答えた方にお聞きします。
配偶者・パートナーの職業はどれですか。(1つに○)

- ① 正社員・正職員
② パート・アルバイト・派遣・契約社員等の非正規雇用者
③ 自営業（商工業、農林水産業、サービス業等）
④ 専業主婦・主夫
⑤ 学生
⑥ 無職
⑦ その他（ ）

F 8 あなたには、次のようなお子さんがいますか。成人しているお子さんや別居しているお子さんを含めてお答えください。(あてはまるもの全てに○)

- | | | |
|------------|-------|-------|
| ① 未就学児 | ② 小学生 | ③ 中学生 |
| ④ 高校生以上の学生 | ⑤ 社会人 | ⑥ いない |

F 9 最後に通われた、または現在通っている学校は次のどれですか。中退した場合を含め、お答えください。(1つに○)

- | | | |
|---------------|--------|---------------|
| ① 小学校・中学校 | ② 高等学校 | ③ 専門学校(中学卒業後) |
| ④ 専門学校(高校卒業後) | ⑤ 短期大学 | ⑥ 高等専門学校(5年制) |
| ⑦ 大学 | ⑧ 大学院 | |

■ 全ての方にお聞きします。
「男女平等」について、お答えください。

問 1 あなたは、次の分野で男女の地位が平等になっていると思いますか。あなたの考えに最も近いものに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

	男性の方が 非常に優遇されている	どちらかといえば 男性の方が 優遇されている	平等になっている	どちらかといえば 女性の方が 優遇されている	女性の方が 非常に優遇されている	わからない
① 家庭生活	1	2	3	4	5	6
② 職場	1	2	3	4	5	6
③ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
④ 政治の場	1	2	3	4	5	6
⑤ 地域活動の場 (自治会やPTAなど)	1	2	3	4	5	6
⑥ 法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会全体	1	2	3	4	5	6

問2 あなたは、次の言葉や制度のうち、見聞きしたことがあるものはありますか。
(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|--|------------------------------------|
| ① 男女共同参画社会 | ② 男女共同参画社会基本法 |
| ③ 男女雇用機会均等法 | ④ 育児・介護休業法 |
| ⑤ DV（ドメスティック・バイオレンス） | ⑥ DV防止法 |
| ⑦ ストーカー規制法 | ⑧ 女性活躍推進法 |
| ⑨ 困難女性支援法 | ⑩ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和） |
| ⑪ ジェンダー（社会的性別） | ⑫ L G B T Q |
| ⑬ ポジティブ・アクション（積極的改善措置） | ⑭ アンコンシャス・バイアス（性別等による無意識の思い込み） |
| ⑮ リプロダクティブ・ヘルス／ライツ
（性と生殖に関する女性の健康／権利） | ⑯ 渋川市男女共同参画及び多様性を尊重する
社会を推進する条例 |
| ⑰ 第2次渋川市男女共同参画計画 | ⑱ 見たり聞いたりしたことがあるものはない |

問3 一般的に女性が仕事をもつことについて、どう思いますか。(1つに○)

- | |
|--------------------------------------|
| ① 女性は仕事をもたない方がよい |
| ② 結婚するまでは、仕事を続ける方がよい |
| ③ 子どもができるまでは、仕事を続ける方がよい |
| ④ 結婚・出産にかかわらず、ずっと仕事を続ける方がよい |
| ⑤ 子どもが小さい間は仕事をやめて、大きくなったら再び仕事をする方がよい |
| ⑥ そもそも仕事をもつことについて、男女に分けて考える必要はない |
| ⑦ わからない |

問4 あなたは、進路や職業を選択する際に自分の性別を意識したことがありますか。
(1つに○)

- | |
|--------------------|
| ① かなり意識した |
| ② どちらかといえば、意識した |
| ③ どちらかといえば、意識しなかった |
| ④ ほとんど・全く意識しなかった |

問5 あなたには、今までに次のような理由で離職した経験がありますか。
(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| ① 結婚を契機に離職した | ② 自分や配偶者の妊娠・出産を契機に離職した |
| ③ 育児を契機に離職した | ④ 介護を契機に離職した |
| ⑤ 自分の健康問題を契機に離職した | ⑥ 該当するものはない |

問6 育児休業を取得することについて、どう思いますか。(それぞれ1つに○)

育児休業について	積極的に 育児休業を取得 する方がよい	できれば取得す る方がよいが、 安心して取得で きる環境が整っ ていない	取得しないで、 仕事に専念した 方がよい	わからない
① 男性は	1	2	3	4
② 女性は	1	2	3	4

問7 介護休業を取得することについて、どう思いますか。(それぞれ1つに○)

介護休業について	積極的に 介護休業を取得 する方がよい	できれば取得す る方がよいが、 安心して取得で きる環境が整っ ていない	取得しないで、 仕事に専念した 方がよい	わからない
① 男性は	1	2	3	4
② 女性は	1	2	3	4

**問8 あなたは、今後男性が家事・育児・介護・地域活動に、さらに積極的に参加してい
くためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)**

- ① 男性がかかわることへの抵抗感を、男性自身がなくす
- ② 男性がかかわることへの抵抗感を、女性がなくす
- ③ 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図る
- ④ 年配者や周りの人が、かかわろうとする当事者の考え方を尊重する
- ⑤ 職場の上司や周囲が、かかわろうとする当事者の考え方を尊重する
- ⑥ 男性が、家事・育児・介護・地域活動にかかわることへの社会的評価を高める
- ⑦ 仕事以外の時間をより多く持てるよう、労働時間の短縮や休業制度の普及を進める
- ⑧ 男性自身の関心を高めるための啓発や情報提供を行う
- ⑨ 行政機関による講座や研修で、男性の家事や育児、介護等の技能を高める
- ⑩ 男性がかかわりやすくなるよう、仲間（ネットワーク）づくりを進める
- ⑪ 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設ける
- ⑫ 特に必要だと思うことはない
- ⑬ その他（ ）

■ 全ての方にお聞きします。
「結婚」や「家庭生活」について、お答えください。

**問9 「結婚」や「家庭生活」に関する次の考え方について、どう思いますか。
あなたの考えに最も近いものに○をつけてください。(それぞれ1つに○)**

	賛 成	賛 成 と ど ち ら か い え ば	反 対 と ど ち ら か い え ば	反 対	い わ か ら な い
① 結婚は個人の自由であるから、結婚 してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
② 結婚しても、うまくいかなければ 離婚してもかまわない	1	2	3	4	5
③ 結婚しても、子どもを持つことに こだわらなくてよい	1	2	3	4	5
④ 夫婦別姓（別苗字）を選択できる ことを認める方がよい	1	2	3	4	5
⑤ 法律に基づく結婚と同様に事実婚も 社会的に認める方がよい	1	2	3	4	5
⑥ 同性同士の結婚も社会的に認める方 がよい	1	2	3	4	5

問 10 あなたは「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。
(1つに○)

- | | | | |
|--------------|--------|--------------|--------|
| ① 賛成 | →問 11へ | ② どちらかといえば賛成 | →問 11へ |
| ③ どちらかといえば反対 | →問 12へ | ④ 反対 | →問 12へ |
| ⑤ わからない | →問 13へ | | |

問 11 問 10で「① 賛成」または「② どちらかといえば賛成」と答えた方にお聞きします。
賛成と思うのはなぜですか。(あてはまるもの全てに○)

- ① 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから
- ② 自分の両親も性別による役割分担をしていたから
- ③ 男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
- ④ 女性が家庭を守った方が、子どもの成長などにとってよいと思うから
- ⑤ 育児・介護・家事と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから
- ⑥ わからない、またはこの中にはない

問 12 問 10で「③ どちらかといえば反対」または「④ 反対」と答えた方にお聞きします。
反対と思うのはなぜですか。(あてはまるもの全てに○)

- ① 男女平等に反すると思うから
- ② 自分の両親は外で働いていたから
- ③ 男性も女性も働いた方が、多くの収入が得られると思うから
- ④ 女性が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとってよいと思うから
- ⑤ 育児・介護・家事と両立しながら、女性が働き続けることは可能だと思うから
- ⑥ 固定的な男性と女性の役割分担の意識を押しつけるべきではないから
- ⑦ わからない、またはこの中にはない

■ 現在「結婚していない」方にお聞きします。
※それ以外の方は、問 14へお進みください。

問 13 結婚をしていない理由として、あてはまるものはどれですか。
(あてはまるもの全てに○)

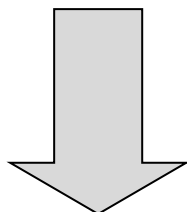
- ① 結婚相手として条件をクリアできる人に巡り合えていないから
- ② 結婚するほど好きな人に巡り合っていないから
- ③ 名字・姓が変わるのが嫌・面倒だから
- ④ 結婚という形式にこだわる必要性を感じないから
- ⑤ 結婚に縛られたくない、自由でいたいから
- ⑥ 今のままの生活を続けた方が安心だから
- ⑦ 結婚生活を送る経済力がない・仕事が不安定だから
- ⑧ 仕事・家事・育児・介護を背負うことになるから
- ⑨ 仕事を優先したい・キャリアを中断したくないから
- ⑩ 誰かと一緒に生きていきたいと思わないから
- ⑪ 結婚・恋愛に失敗した経験があり、もうしたくないと思うから
- ⑫ 特に理由はない
- ⑬ その他 ()

■ 現在「結婚している（事実婚を含む）」方にお聞きします。

※それ以外の方は、問 1 5 へお進みください。

問 1 4 現在あなたの家庭では、次のような役割を主に誰が担っていますか。

（それぞれ 1 つに○）



	主に自分	主に配偶者や パートナー	主に、その他の 成人の家族	家族全員で 分担している	あてはまらない
① 食事のしたく	1	2	3	4	5
② 食事の後片付け	1	2	3	4	5
③ 買い物	1	2	3	4	5
④ 洗濯	1	2	3	4	5
⑤ 掃除	1	2	3	4	5
⑥ 育児	1	2	3	4	5
⑦ 家族の看護・介護	1	2	3	4	5
⑧ 学校行事などへの参加	1	2	3	4	5
⑨ 自治会などの地域活動への参加	1	2	3	4	5
⑩ 家計の管理	1	2	3	4	5
⑪ 収入を得る	1	2	3	4	5

■ 現在、勤めている方（パート・アルバイト・派遣等を含む）にお聞きします。

※それ以外の方は、問 2 1 へお進みください。

問 1 5 あなたの職場では、次のようなことがありますか。（あてはまるもの全てに○）

- ① 募集や採用の面で、男女に差がある
- ② 賃金や昇給の面で、男女に差がある
- ③ 昇進や昇格の面で、男女に差がある
- ④ 女性は補助的業務や雑務が多い
- ⑤ 職場での研修や研究の機会に、男女の差がある
- ⑥ 女性が結婚や出産を機に退職する慣習や雰囲気がある
- ⑦ ハラスメントの相談窓口や防止規定がない
- ⑧ 特に男女の間で不公平はない
- ⑨ わからない

●問１６ あなたの職場での、育児・介護休業の取得について、お聞かせください。

(1つに○)

- | | |
|----------------------------------|-------|
| ① 取得するつもり、または取得したことがある | →問１８へ |
| ② 取得したいができない（またはできなかった） | →問１７へ |
| ③ 取得できるがするつもりはない（または取得できるがしなかった） | →問１７へ |
| ④ 子どもがいない、または介護が必要な家族がいない | →問１８へ |
| ⑤ わからない | →問１８へ |

●問１７ 問１６で、「② 取得したいができない（またはできなかった）」または「③ 取得できるがするつもりはない（または取得できるがしなかった）」と答えた方にお聞きします。

育児・介護休業を取得できない、またはしない理由はどのようなことですか。

(あてはまるもの全てに○)

- | |
|-----------------------|
| ① 勤務先に育児・介護休業制度がない |
| ② 勤務先に取得しにくい雰囲気がある |
| ③ 復職できるめどが立たない |
| ④ 上司や同僚に迷惑がかかる |
| ⑤ 所得が減る心配がある |
| ⑥ 後で昇格や昇給に影響する心配がある |
| ⑦ 配偶者や家族など、他の家族に任せられる |
| ⑧ その他（ |

●問１８ あなたの職場では、女性の採用や管理職への登用が進んでいると思いますか。

(1つに○)

- | | | |
|------------|-------------|---------|
| ① 進んでいると思う | ② 進んでいないと思う | ③ わからない |
|------------|-------------|---------|

●問１９ 仕事に関して、どんなことがあれば、女性が管理職として働きやすい、働きたくなると思いますか。仕事上の能力以外の要素について、お聞かせください。

(あてはまるもの全てに○)

- | |
|---|
| ① 管理職は家庭やプライベートより仕事を優先すべきという空気感がないこと |
| ② 管理職でも残業や長時間勤務がないような体制・配慮があること |
| ③ 管理職の残業や長時間勤務にも給与反映があること |
| ④ 管理職でもきちんと休暇がとれること |
| ⑤ 辞令や異動、転勤について相談可能な体制・配慮があること |
| ⑥ 在宅勤務・テレワーク・フレックスタイム等が柔軟に活用できること |
| ⑦ 管理職に対してのメンタルケアなどのサポートがあること |
| ⑧ 出産・子育てと管理職として働くことへの両立支援や配慮があること |
| ⑨ 介護と管理職として働くことへの両立支援や配慮があること |
| ⑩ 家事・育児・介護休業の取得によってキャリアが中断されないような体制・配慮があること |
| ⑪ 家事・育児・介護を配偶者と分担できること |
| ⑫ 家事・育児・介護に関して外部のサービスなどが利用しやすくなること |
| ⑬ 女性特有の健康課題に関する取組があること |
| ⑭ その他（ |
| ⑮ この中にあてはまるものはない |
| ⑯ わからない |

●問20 あなたの勤務先における「健康経営」に関する取組をおしえてください。
(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| ① 労働時間の適正化、ワーク・ライフ・バランスや生活時間の確保 | ② メンタルヘルスの不調など、ストレス関連疾患の発生予防 |
| ③ 女性特有の健康課題など、女性の健康保持・増進 | ④ 休職後の職場復帰、就業と治療の両立支援 |
| ⑤ 従業員間のコミュニケーションの促進 | ⑥ 従業員の喫煙率の低減促進 |
| ⑦ 従業員の感染症予防（コロナ、インフルエンザなど） | ⑧ 精密検査や任意検診などの受診率向上の促進 |
| ⑨ 生活習慣病などの疾病の発生予防（健常者に対する） | ⑩ 生活習慣病などの高リスク者に対する重症化予防 |
| ⑪ 従業員の生産性低下・事故発生の防止 | ⑫ その他（ ） |

■ 全ての方にお聞きします。
「男女の健康問題」について、お答えください。

●問21 あなたは、自分が健康だと思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|------------------|
| ① 健康だと思う | ② どちらかといえば健康だと思う |
| ③ どちらかといえば健康でないと思う | ④ 健康でないと思う |

●問22 健康状態を良い状態に保つ、または高めるために、あなたがやりたいことについて、お答えください。(3つまで○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ① 睡眠時間を増やす・良質な睡眠を取る | ② 休息時間やリラックス時間を増やす |
| ③ 体を動かす時間を増やす | ④ 食生活を正す |
| ⑤ 病院や診療所などにきちんと通う | ⑥ 健康診断や人間ドックを受診する |
| ⑦ 仕事の量や時間、働き方を調整する | ⑧ 仕事を辞める・別の仕事に転職する |
| ⑨ 収入を増やす | ⑩ 家事・育児の時間・量を調整する |
| ⑪ 介護の時間・量を調整する | ⑫ 家族や知人との会話や交流を増やす |
| ⑬ その他（ ） | ⑭ 特にあてはまるものはない |

●問23 女性特有の健康課題に対して、会社などにどのような配慮や制度等があると働きやすくなると思いますか。(あてはまるもの全てに○)

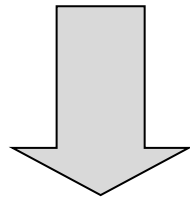
- | | |
|---|------------------------------------|
| ① 経営陣・トップの理解 | ② 男性上司の理解 |
| ③ 女性上司の理解 | ④ 男性の社員全体の理解 |
| ⑤ 女性の社員全体の理解 | ⑥ 病気の治療と仕事の両立支援制度 |
| ⑦ 出産と子育ての両立支援制度
(育児休業取得・サポート、復職支援) | ⑧ 育児休業を取得する社員の周囲への支援制度(育休職場応援手当など) |
| ⑨ 介護と仕事の両立支援制度 | ⑩ 生理休暇を取得しやすい環境整備 |
| ⑪ 不妊治療に対する支援(通院時の休暇取得など) | ⑫ 更年期障害への支援(通院時の休暇取得など) |
| ⑬ 女性専用の休憩室の設置
(体調により休息や仮眠、リフレッシュが可能) | ⑭ 女性の健康専門の相談窓口の設置
(メール・電話等を含む) |
| ⑮ 婦人科検診への金銭補助 | ⑯ 婦人科検診の受診に対する休暇
または就業時間認定 |
| ⑰ 産業医や婦人科医配置、外部医師の紹介体制 | ⑱ その他
() |

■ 全ての方にお聞きします。

「恋人や配偶者からの暴力」について、お答えください。

●問24 あなたは過去5年以内に、恋人や配偶者等のパートナーから次のようなことをされたこと、またはしたことがありますか。(それぞれ1つに○)

※「パートナー」には、配偶者、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者（離別・死別した相手、事実婚を解消した相手）を含みます。



		1・2度ある	何度もある	ない
① 身体的な暴力 (なぐる、ける、ものを投げつける、突き飛ばす、刃物でおどす等)	されたこと	1	2	3
	したこと	1	2	3
② 精神的な暴力・社会的な暴力 (人格を否定するような暴言、長時間の無視、どなる、「だれのおかげで生活できるんだ」や「かいしょうなし」などの見下した発言、身の危険を感じるような脅迫、交友関係の監視や制限等)	されたこと	1	2	3
	したこと	1	2	3
③ 性的な暴力 (相手がいやがっているのに性的な行為を強要する、避妊に協力しない、中絶の強要、見たくないのにポルビデオやポル雑誌を見せる等)	されたこと	1	2	3
	したこと	1	2	3
④ 経済的な暴力 (生活費を入れない、外で働くことを妨害する、仕事を辞めさせる、家計の管理に関与させない、借金をさせてお金を取り上げる等)	されたこと	1	2	3
	したこと	1	2	3
⑤ 子どもを利用した暴力 (子どもの前で暴力を振るったり暴言を浴びせる、子どもに自分の言いたいことを伝えさせる等)	されたこと	1	2	3
	したこと	1	2	3
⑥ ストーカー行為 (つきまとい、待ち伏せ、押しかけ、監視していると告げる、面会・交際の要求、乱暴な言動、無言電話、連続した電話・FAX・メール、汚物の送付、名誉を傷つける、性的羞恥心の侵害等)	されたこと	1	2	3
	したこと	1	2	3

→問25へ

●問25 問24の「されたこと」の項目について、1つでも「1・2度ある」または「何度もある」と答えた方にお聞きします。

あなたは、次のような機関や人に、自分が「されたこと」を相談したことがありますか。(あてはまるもの全てに○)

① 配偶者暴力相談支援センター	② 警察
③ 法務局・人権擁護委員	④ 市役所などその他の公的機関
⑤ 勤務先の関係者	⑥ 医療関係者（医師、看護師等）
⑦ 民間の専門家や専門機関 (弁護士、カウンセラー、民間シェルター等)	⑧ 学校関係者 (教員、養護教員、スクールカウンセラー等)
⑨ 児童相談所	⑩ 家族や親せき
⑪ 知人・友人	⑫ その他 ()
⑬ 誰にも相談しなかった・できなかった →問26へ	

●問26 問25で「⑬ 誰にも相談しなかった・できなかった」と答えた方にお聞きします。

相談しなかった・できなかった理由は、どのようなことですか。

(あてはまるもの全てに○)

- ① どこ（誰）に相談してよいのかわからなかったから
- ② 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
- ③ 相談してもむだだと思ったから
- ④ 相談したことがわかると、仕返されたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
- ⑤ 暴力を行ったパートナーに、「誰にも言うな」とおどされたから
- ⑥ 自分さえがまんすれば、このままなんとかやっていけると思ったから
- ⑦ 相談した相手にいやなことを言われたり、不快な思いをさせられると思ったから
- ⑧ 世間体が悪いと思ったから
- ⑨ 自分に悪いところがあると思ったから
- ⑩ そのことについて考えたくない、思い出したくなかったから
- ⑪ 他人を巻き込みたくなかったから
- ⑫ 相談するほどのことではないと思ったから
- ⑬ 他人に知られると、これまで通りのつきあい（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから
- ⑭ 自分が受けている行為がDVだとは思っていなかったから
- ⑮ 相手の行為は愛情の表現だと思ったから
- ⑯ 別れるつもりがなかったから
- ⑰ その他（)

●問27 女性に対する暴力の根絶を図るために、あなたが必要だと考えるものはどれですか。(あてはまるもの全てに○)

- ① パンフレットやホームページ、SNS等で広く啓発
- ② 被害者の安全確保と自立支援体制の整備
- ③ 男性に向けた、暴力抑止するための広報
- ④ 女性に向けた、身を守るための広報
- ⑤ 若者世代からの、デートDV等の予防・啓発
- ⑥ メディア上の、女性に対する暴力表現等への対応
- ⑦ セクハラ対策のための広報や啓発
- ⑧ DV相談窓口の周知や機能の充実
- ⑨ その他（)

■ 全ての方にお聞きします。
「男女共同参画社会」について、お答えください。

●問28 男女共同参画社会を実現するために、今後、渋川市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(3つまで○)

- ① 審議会の委員や管理職など、市の政策や方針決定の場に女性を積極的に登用する
- ② 民間企業・団体などに、女性の職域拡大や管理職登用が進むよう働きかける
- ③ 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する
- ④ 保育の施設やサービス、高齢者等の施設や介護サービスを充実する
- ⑤ 男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する
- ⑥ 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など、男女ともに働き方の見直しを進めるように企業に働きかける
- ⑦ 育児や介護中であっても仕事が続けられるように企業に働きかける
- ⑧ 育児や介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
- ⑨ 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする
- ⑩ 女性に対する暴力を根絶するための取組を進める
- ⑪ 男女共同参画団体などとの連携を強める
- ⑫ 地域活動・地域団体の女性リーダー育成を支援する
- ⑬ 男女共同参画や女性活躍に取り組む事業所に対して、独自に支援や評価を行う
- ⑭ 女性の健康への取組を進める
- ⑮ わからない

● 男女共同参画について、ご意見、ご要望があれば、次の記載欄に自由にお書きください。

アンケートはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

記入していただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、令和7年1月24日(金)までにポストに投函してください。その際、切手を貼る必要はありません。